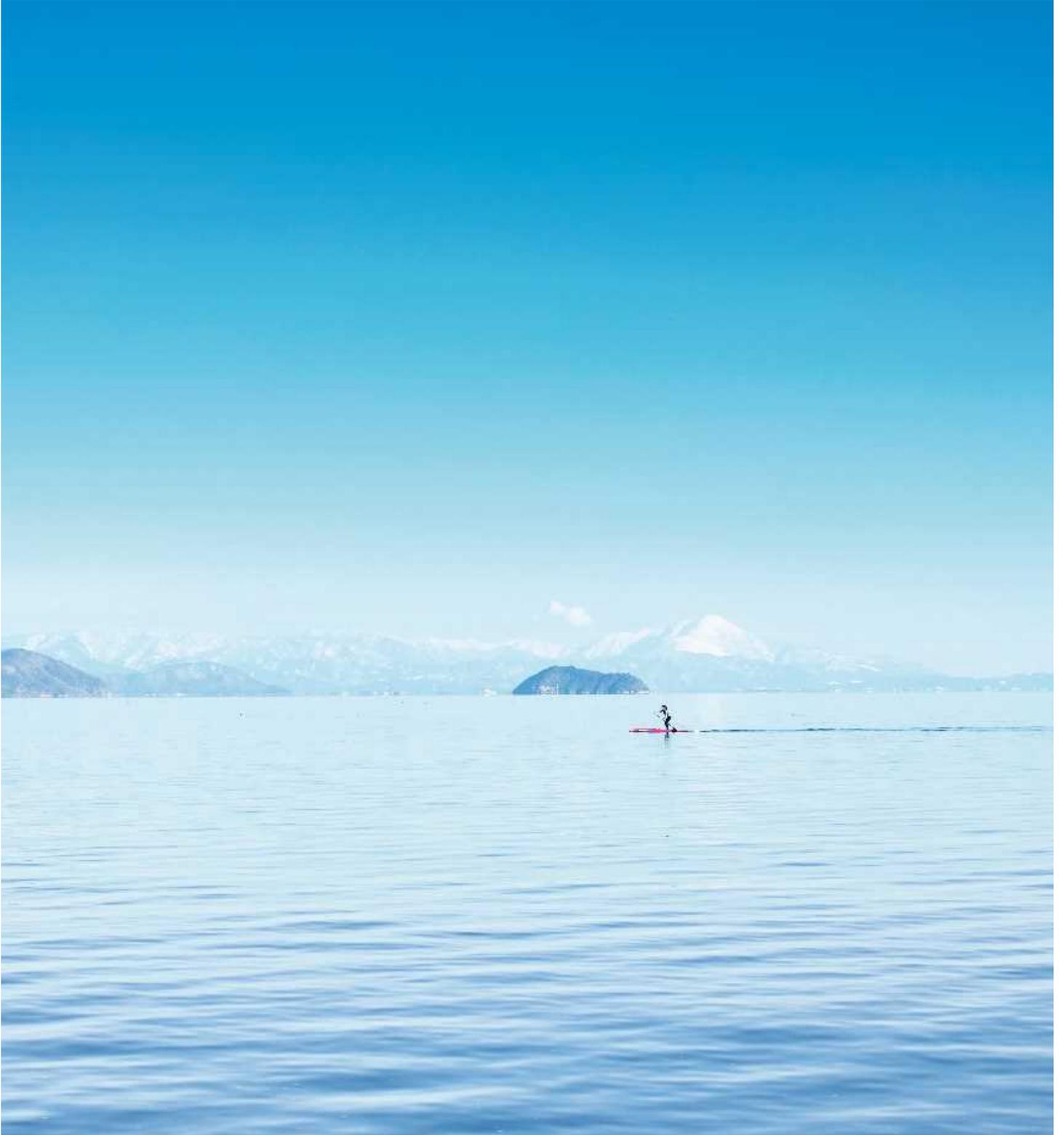


滋賀県

Shiga



滋賀県 基本情報

自然環境学習や歴史を学ぼう！

四季それぞれの顔を持つ滋賀。

日本のほぼ中央に位置し、日本一大きな琵琶湖を中心に、四方を鈴鹿・比叡・伊吹の山々に囲まれた湖国「滋賀」県は、東海道や中山道、北国街道が交差し、古くから日本各地を結ぶ東西交通の要であり、「近江を制する者は天下を制す」とわれていました。

また、「急がば回れ」という諺の語源は、室町時代の連歌師宗長が詠んだ、「もののふの矢橋(やばせ)の船は速けれど急がば回れ瀬田の長橋」と言われています。

滋賀県は、四季それぞれ違った顔を持っており、琵琶湖でのカヤックやヨット、SUPなどのアクティビティだけでなく、スキーやスノーボード、絶景、焼き物等のものづくり、環境学習、歴史や文化を学べるところです。



滋賀県



県庁所在地 大津市

人口 1,409,157人 (R3/10/1現在)

主な産業 輸送用機械、電気機械、化学工業、小売業など

歴史 琵琶湖は約400万年前に現在の三重県伊賀市あたりで誕生し、形を変えながら約40万年前に現在の位置まで移動したといわれています。また戦国時代においては要所となり、1,300の城があったと言われていました。

文化 世界文化遺産の比叡山延暦寺を中心とした文化と、琵琶湖で生活してきた自然との共存する文化などがあります。

自然 日本一大きな湖の琵琶湖は、面積が滋賀県全土の約1/6を占める約670km²、貯水量は約275億m³で京阪神の約1,450万人の生活用水などに利用されています。

問い合わせ 公益社団法人びわこビジターズビューロー

電話 077-511-1530

メール education@biwako-visitors.jp

URL <https://www.biwako-visitors.jp/corp/education/>

滋賀県へ来られる皆さまへ

「シガリズム」を体感してみませんか？



滋賀県には、日本一大きく美しい琵琶湖、里山、森林などの豊かな自然があり、その自然を生かした湖上スポーツやアスレチック、自転車で琵琶湖を一周する「ビワイチ」、グランピング、キャンプなどのアクティビティが楽しめます。

さらに、世界文化遺産「比叡山延暦寺」や「彦根城」などの神社仏閣や史跡も豊富で、座禅や写経などを通して歴史や文化を間近で体感することもできます。

また、琵琶湖版のSDGsであるMLGs(マザーレイクゴールズ)では13の目標を掲げ、琵琶湖から地球規模の環境を考える新しいSDGs学習を提供することができます。

このように滋賀県には、子どもたちに「見せたい」、「伝えたい」、「体験させたい」といったことに対応できる魅力ある学習素材が豊富にあります。

滋賀県では、琵琶湖をはじめとした自然と歩みをそそえ、ゆっくりといねいに暮らしてきた、滋賀の時間の流れや暮らしを体験・体感し、心のリズムを整えるツーリズムを「シガリズム」として進めています。

ぜひ、修学旅行で滋賀県にお越しいただき、「シガリズム」の素晴らしさに触れてみてください。

滋賀県知事

三木大造

琵琶湖版SDGsのMLGs（マザーレイクゴールズ）



Mother Lake Goals



マザーレイクゴールズ公式サイト「MLGs WEB」

<https://mlgs.shiga.jp/>

MLGs WEB

検索



@MotherLakeGoals



fb.me/motherlakegoals >



@motherlakegoals



https://bit.ly/3LJ6dSm >



facebook



YouTube

マザーレイクゴールズ (MLGs) は、

「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会への目標 (ゴール) であり、「琵琶湖版のSDGs」です。

マザーレイクゴールズ推進委員会

琵琶湖版SDGsのMLGs (マザーレイクゴールズ)

2030年の琵琶湖と琵琶湖に根ざす暮らしに向けた13のゴール



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

マザーレイクゴールズ(MLGs)は、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会へ向けた目標(ゴール)です。MLGsは「琵琶湖版のSDGs」として、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、独自に13のゴールを設定しています。

SDGsとMLGs

SDGsの視点から見ると、琵琶湖を通じてSDGsをアクションまで落とし込む仕組みがMLGsであり、MLGsの取組はSDGsの達成に貢献するものです。MLGsの視点から見ると、琵琶湖の石けん運動以来40年以上にわたる、県民など多様な主体による活動が、SDGsにつながっていることを発見する仕組みと言えます。



ロゴマーク・キーコンセプトについて

MLGsのロゴマークは、琵琶湖を中央に配し、周囲には円形の中に13のゴールカラーを配置しました。円形は琵琶湖を取り巻く湖国・滋賀、そして地球を表現しています。「琵琶湖は生活を映す鏡」「琵琶湖は地球環境を見透す窓」であることを表し、琵琶湖・滋賀から世界を変えるための目標であることを示しています。

13のゴールカラーは、日本の伝統色を用いて生活に「溶け込む」ことを目指し、アイコンは、組み合わせたときの「つながり」を意図したシンプルなデザインで表現しました。

キーコンセプトは「変えよう、あなたと私から」。変化のはじまりは「あなたと私」。2人が協力し、小さなことを積み上げ、共に変わっていくことが連鎖して、点が線に、線が面へと広がり、社会全体の変化につながっていきたい。そんな思いをこの言葉に込めました。

詳しい情報・最新情報はWEB・SNSをチェック!



マザーレイクゴールズ
公式サイト「MLGs WEB」
<https://mlgs.shiga.jp/>
MLGs WEB 検索



@MotherLakeGoals



fb.me/motherlakegoals



@motherlakegoals

<https://bit.ly/3U6d5m>



facebook



YouTube

マザーレイクゴールズ推進委員会

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課 〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1
☎ 077-528-3466 ✉ ck00@pref.shiga.lg.jp

2030年の持続可能社会と琵琶湖に根ざす暮らしに向けた13のゴール



Goal 1 | 清らかさを感じる水に

アオコや赤潮などのプランクトンの異常発生が抑制され、飲料水としても問題がなく、悪わず触れたいくなるような清らかな水が維持される



Goal 2 | 豊かな魚介類を取り戻そう

在来魚介類の生息環境が改善し、資源量・漁獲量が持続可能な形で増加するとともに、人々が漁獲料理を日常的に楽しむ



Goal 3 | 多様な生き物を守ろう

生物多様性や生態系のバランスを取り戻す取組が拡大し、野生動物の生息状況が改善するとともに、自然の恵みを実感する人が増加する



Goal 4 | 水辺も湖底も美しく

川や湖にゴミがなく、砂浜や水生植物などが適切に維持・管理され、誰もが美しいと感じられる水辺景観が守られる



Goal 5 | 恵み豊かな水源の森を守ろう

水源涵養や生態系保全、木材生産、レクリエーションなどの多面的機能が持続的に発揮される森林づくりが進み、人々が地元の森林の恵みを持続的に享受する



Goal 6 | 森林・湖・海をつなぐつながりを健全に

森から湖、海に至る水や物質のつながりが健全に保たれ、湖と川、内湖、田んぼなどを行き来する生き物が増加する



Goal 7 | びわ湖のためにも 温室効果ガスの排出を減らそう

日常生活や事業活動から排出される温室効果ガスを減らす取組が広がり、琵琶湖の全層循環未完了などの異常の進行が抑えられる



Goal 8 | 気候変動や自然災害に強い暮らしに

豪雨や渇水、温暖化などの影響を把握・予測し、そうした事態が起きたとき大きな被害を受けない暮らしへの転換が進む



Goal 9 | 生業・産業に地域の資源を活かそう

地域の自然の恵みを活かした商品や製品、サービスが積極的に選ばれ、地域内における経済循環が活性化し、ひいては環境が持続的に守られる



Goal 10 | 地元も流域も学びの場に

琵琶湖や流域、自分が生活する地域を環境学習のフィールドとして体験・実習する機会が豊富に提供され、関心を行動に結びつけられる人が増加する



Goal 11 | びわ湖を楽しみ 愛する人を増やそう

レジャーやエコツーリズムなどを通じて自然を楽しむ様々な機会が増え、琵琶湖への愛着が育まれる



Goal 12 | 水とつながる祈りと暮らしを次世代に

水を敬い、水を巧みに生活の中に取り込む文化や、水が育む生業や食文化が、将来世代へと確実に継承される



Goal 13 | つながりあって目標を達成しよう

年代や性別、所属、経験、価値観などが異なる人同士、また異なる地域に住まう人同士がつながり、琵琶湖や流域の現状、これらについて対話を積み重ね、その成果を共有できる機会が十分に提供される

おすすめエリア



おすすめポイント1

比叡山延暦寺(大津市)

情報があふれる日常の中、忙しく生活していることと思います。そんな日常を離れ、自分自身に向き合ってみませんか。比叡山での修行体験を通じて、自分を見つめることにより、普段の生活で見失われたものに気づき、さわやかな心で山を下りられることでしょう。

坐禅体験

延暦寺会館館内では、僧侶による初心者坐禅指導および座禅体験ができます。また、延暦寺会館で宿泊いただいた場合、国宝根本中堂での貸切坐体験が可能です。

写経体験

お釈迦様が説かれたお経を1字1句佛様と見たてて書写指導を受けていただくことができます。

法話

僧侶による法話を聞くことができます。

昼食・宿泊をともなう夕食での食事作法

あらゆるものに感謝を込めて、食べ物を頂く食事作法の修行体験ができます。



おすすめポイント4

黒壁スクエア(長浜市)

北国街道沿いに続く、「黒壁スクエア」は、明治時代に黒壁銀行の愛称で親しまれた古い銀行を改装した建物です。

黒壁一號館(ガラス館)、三號館(オルゴール館)を始め、昔ながらの光景が残った街並みで、体験教室等もあります。班別などグループで街歩きするのに適しています。鯖そうめんやのっぺうどんといった地域の名産もあります。



おすすめポイント2

琵琶湖の外輪船「ミシガン」船内で非日常的な体験(大津市)

船上でのランチやディナーで、ホテルとはまた違う非日常的な体験をしませんか。

琵琶湖上なので、サプライズで花火を打ち上げることも可能です。

(花火は別途応談)



おすすめポイント3

白鬚神社(高島市)

琵琶湖の中に鳥居があるのが、高島市にある「白鬚神社(しらひげじんじゃ)」です。

国史見在社で、旧社格は県社。

別称は「白鬚大明神」「比良明神」。

神紋は「左三ツ巴」。

全国にある白鬚神社の総本社とされ、沖島を背景として琵琶湖畔に鳥居を浮かべることから、「近江の巖島」とも称されています。

バリエーションが豊富な琵琶湖でのアクティビティ

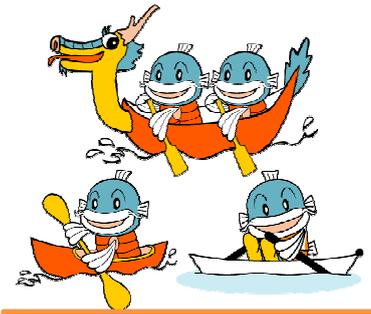
琵琶湖

滋賀県に来れば、やはり自然とともに「琵琶湖」に触れてください。

日本一大きな湖の琵琶湖は、面積が滋賀県全土の約1/6を占め、京阪神約1,450万人の生活用水などに利用されています。

アクティビティとしては、カヤック、ヨット、SUP、ドラゴンボートなどを始め、琵琶湖から唯一流れ出る瀬田川ではラフティングも可能です。さらに、琵琶湖に生息するヨシを使った、ヨシ笛作成や琵琶湖の生態系を学ぶこともできます。

これらにより、SDGsや自然環境の学習につながります。



滋賀県のマスコットキャラクター「キャッピー」



Mother Lake Goals

自然環境学習体験

琵琶湖のプランクトンを採集し、顕微鏡で観察することにより琵琶湖の生態系が学べることや、琵琶湖の水質調査を行うことで水環境、水質浄化作用のあるヨシの役割等を学ぶことができます。

また、MLGsは、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会への目標（ゴール）であり、「琵琶湖版のSDGs」です。

SDGsの視点から見ると、琵琶湖を通じてSDGsをアクションまで落とし込む仕組みがMLGsであり、MLGsの取組はSDGsの達成に貢献するものと言えますので、自然環境学習につながります。

アスレチック体験

フィールドアスレチック、ハイエレメント&ローエレメント、イニシアティブゲーム、コミュニケーションゲームなど、体を動かすものが多数あり、これらは、運動をメインとするものではなく、協調性やコミュニケーション力、信頼関係などメンタルな部分を育み、将来社会に出た時に「生きる力」として役に立つ体験となります。

焼き物の作成やジップラインなどは、達成感を得られるとともに、ジップラインについては一歩踏み出す勇気が育成されます。



滋賀の農林漁業体験

滋賀県では農業等の田舎体験も行っております。

農業・林業・漁業など自然豊かだからこそできる体験は、考える力や労働の意義を覚える機会となり、一種の産業観光と言えると思います。

日頃、スーパーや百貨店で買っている野菜一つをとっても、栽培する苦労などが学べます。

歴史・文化・体験

滋賀県は寺院数が全国第1位ですが、どうしても京都や奈良の方が観光される傾向にあります。

全国の寺院数は77,206寺で、人口10万人あたり60.82寺です。寺院数が最も多いのは滋賀県で人口10万人あたり227.39寺(偏差値77.5)で、2位は福井県で215.35寺です。3位以下は島根県(189.57寺)、山梨県(180.96寺)、和歌山県(166.25寺)の順となっています。



竹生島の唐門



金剛輪寺



西教寺



三井寺

日本仏教の母山ともいわれる天台宗総本山比叡山延暦寺があります。また、天台寺門宗総三井寺（園城寺）、天台真盛宗総本山西教寺という、天台三宗の総本山が同一市内に在ることは他では類をみないことであり、各寺の歴史、由緒そして有する文化財をみても三つの総本山には共通点があります

施設紹介



**カヤックを使ってアクティビティの体験と環境学習
やSGDsも学べる！**

施設名 BSCウォータースポーツセンター

2030年に向けて全世界で取組んでいる「SDGs（持続可能な開発目標）」を推進しています。体験を通じて、4つのテーマに基づいた学びや気づきを提供します。

【③・⑤保健】

- ・性別、年齢を問わず楽しめるウォータースポーツを生涯スポーツとして健康に過ごすことを目指します。

【⑥水・衛生】

- ・近畿地方の1400万人が利用する琵琶湖の水質保全に、力をいれています。

《活動例》

- ☆湖岸清掃：湖岸のごみを集め分析します。
- ☆外来魚釣り：外来魚駆除について考えます。

【⑦エネルギー】

- ・自然に優しいウォータースポーツの体験。人力で、琵琶湖にでます。

《活動例》

- ☆カヤック体験
(パドルを漕ぐ力だけで動くため、ガソリン等使わない)

【⑩気候変動】

- ・琵琶湖の水温や水位、気候や気温など、ウォータースポーツを楽しむため影響する気象要素があります。

★カヤック・ヨットでのアクティビティ

広大な琵琶湖の自然に親しみ、仲間と喜びをわかちあう体験学習です。

【学べる・身につく力】

- ◆環境負荷の少ないウォータースポーツ体験を通して自然や環境を大事にする心（環境認知・環境配慮行動の自覚）
- ◆安全のためのライフジャケットの着用ルールを守る（社会的規律）
- ◆カヤックに乗る際に仲間と協力して助け合う力、危険行為を注意しあう（協調性・気配り）



絶景の中でチャレンジ！

施設名 びわ湖バレイ

びわ湖バレイは、びわ湖テラスとして琵琶湖の北側(北湖)の景色を楽しむイメージをお持ちの方も多いと思いますが、アクティビティとして山々を滑車ですべり下りるジップラインは、仲間で楽しみ、時には励ましながらチャレンジできます！

また、共通の課題を達成するチームビルディングでは「コミュニケーション力」や「信頼関係」が生まれ、「共通の達成感」が味わえます。



「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」

施設名 オーパルオブテックス

オーパルオブテックスはドラゴンボート、カヌー、いかだ作りの他外来魚を調べたりプランクトンを観察したりすることができます。

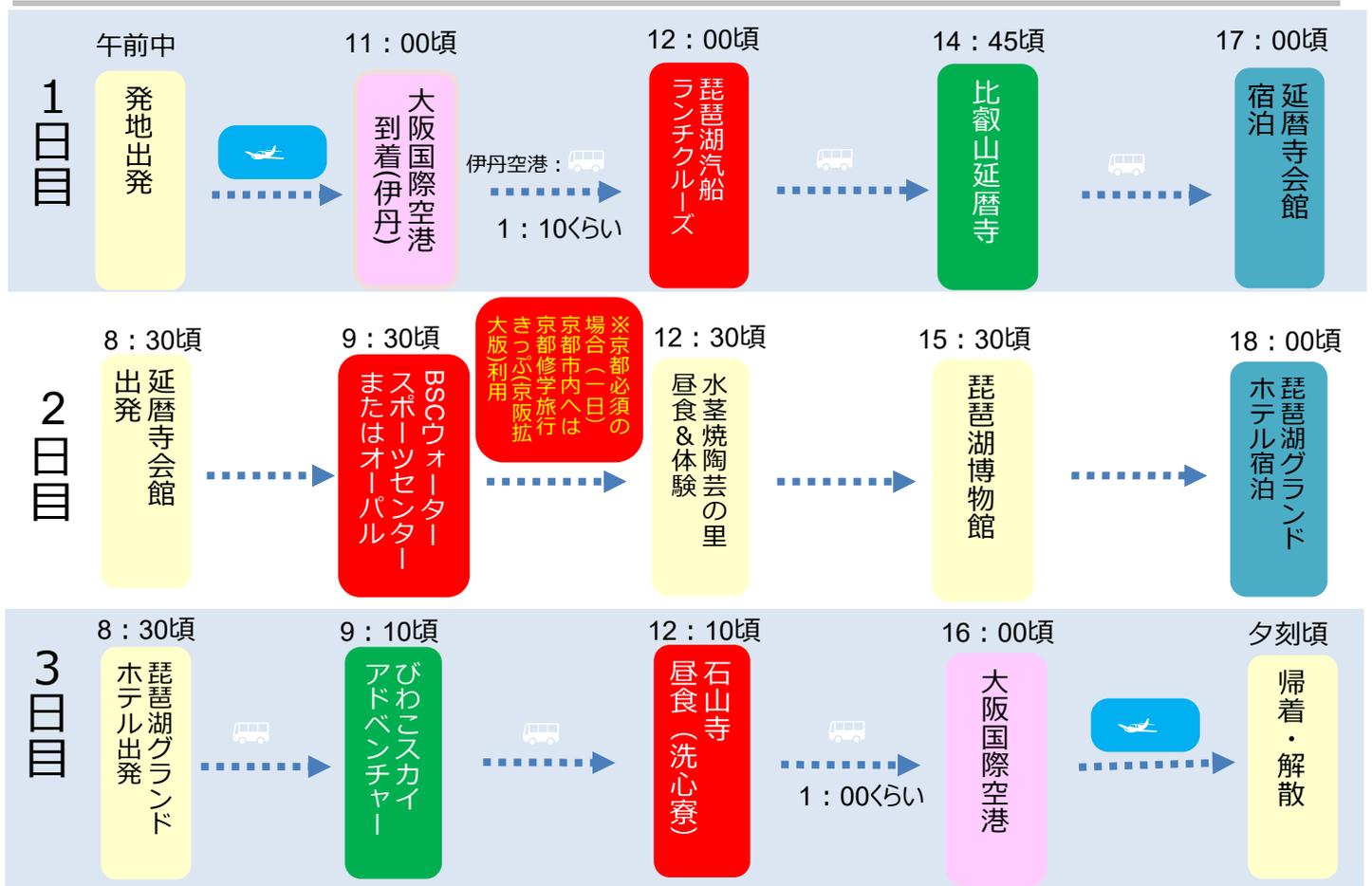


施設名 びわこスカイアドベンチャー/ ひこねスカイアドベンチャー

自主性や協調性を養うプログラムです。

- ・ハイエレメント体験は地上8mの空中アスレチック体験で仲間と助け合いゴールを目指します。
- ・ローエレメントは約20名が1グループで行い、様々なゲームを通じて体験の中から学びます。屋内外を問わないので宿泊施設や体育館でも出張体験が可能です。

モデルコース



■アクティビティ オーパルオブテックス/ BSCウォータースポーツセンター



カヤック、カヌー、ヨット、ドラゴンボート、いかだなど、琵琶湖で思い切りウォータースポーツの体験してください。その中から協調性や考える力を養ってください。

■観光 びわ湖パレイ/びわ湖テラス



びわ湖パレイのびわ湖テラスから見る眺望が絶景です。グリーンシーズンはジップラインやコミュニケーションゲームなどで踏み出す勇氣と協調性を学びます。ウィンターシーズンはスキーやスノーボードが楽しめます。

■焼き物体験 唐橋焼/水荃焼/信楽焼



左上から水荃焼、右上が唐橋焼、下が信楽焼です。独特の色合いをお楽しみください。

■野外活動 びわこスカイアドベンチャー/ひこねスカイアドベンチャー/希望ヶ丘文化公園/びわ湖パレイほか



ハイエレメント&ローエレメント、チームチャレンジプログラム、チームビルディング、インシアティブゲーム等、団結力と協調性を学びます。

■歴史・文化 比叡山延暦寺/延暦寺会館



日常を離れ、自分自身に向き合う事、比叡山での修行体験を通じて、自己を見つめ、普段の生活で見失われたものに気づくことができます。座禅/写経/法話など。精進料理

■BBQ、食事など ・ローザンベリー多和田/希望ヶ丘文化公園/水荃焼陶芸の里/休暇村近江八幡/琵琶湖コンファレンスセンター/アクティブラザ琵琶/峰道レストランなど

・ランチクルーズ orディナークルーズ «非日常体験»

美味しいお食事を堪能してください。船上では、オプションで打ち上げ花火も見る事ができます。

